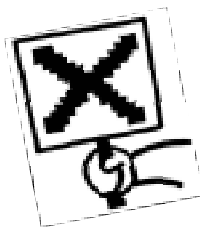


グアム米軍基地建設



日本が7000億円負担！



経済危機のさなか、巨額の血税を国民の暮らしのためではなく、グアムの米軍建設に使うことは納得できません。

米軍住宅はなんと
1戸8000万円
(土地代は不要)

グアムに日本国民の税金で建設が予定されている米軍の家族住宅は、一戸当たり8000万円という超高価な住宅。

関連施設には、消防署、診療所、小・中・高、保育所、集会所などが予定されています。また、米軍のために、水道、電力をはじめ、ゴミ処理施設などインフラ整備も行われます。



「グアム基地協定」廃案へ
反対の声を上げましょう



世界に例がない異常な負担

ご存知ですか！

沖縄米海兵隊の移転を理由に、米グアム基地建設費の負担を日本に義務付ける日米地位協定の審議が国会で始まりました。自国に駐留する外国の軍隊が、国外に移転するからといって、移転先での基地建設費を負担する国は世界例がありません。

グアムでの米軍基地建設費を負担するのは、日本の主権を軽んじるもので、国民にとって屈辱以外の何ものでもありません。

沖縄の痛みは軽減されない

政府は、日米協定が沖縄県民の「基地の痛みを軽減する」との説明しますが、事実ではありません。

重大なのは、協定が新たな痛みを沖縄県民に押し付けていることです。協定の前文では、グアム移転が実現するのは、沖縄・名護市での新基地の「完成に向けての具体的な進展」に「かかっている」としています。新基地建設と移転を「セット」での計画を加速する強権的な協定に沖縄県民が反対するのは当然です。

グアム「移転」後も日本が負担

三日の衆議院防衛委員会において、日本共産党の笠井議員の「移転」後の沖縄に残る海兵隊などがグアムで訓練する場合に、「海兵隊の移動経費活動費まで、日本が負担するのか」と質問。防衛省の政策局長は「そのつど具体的判断を行っている」と答え、日本側が負担する可能性を否定しませんでした。

